

# 大豆（害虫防除）

## 指針採用農薬一覧表

病害虫名 農薬名（商品名）	タネバエ	ダイズサヤタマバエ	マメシンクイガ	イシロイチモジマダラメ	カメムシ類	ハスモンヨトウ	フタスジヒメハムシ	コガネムシ類	ネキリムシ類	センチュウ類	アブラムシ類	ハト
テロン DC油剤										●		
キヒゲン	△											●
ダイアジノン粒剤3 豆类（種実）登録	●							●※				
ダイアジノン粒剤5	●	△	△	△	△		△	●※	△			
ダントツH粉剤DL			△		●		△				△	
トレボン粉剤DL 豆类（種実）登録		△	●	●	●	●	△				△	
ロムダン粉剤DL						●						
アタブロン乳剤						●						
アディオン乳剤			●		△		△				△	
エルサン乳剤			●	●	△	●					●	
カスケード乳剤		△	△		△	●	△					
グレーシア乳剤			△			●	△					
スミチオン乳剤		●	●	●	△						●	
トレボン乳剤		△	●	●	△	●	△				△	
ノーモルト乳剤						●						
マッチ乳剤						●						
マラソン乳剤			△					△			●	
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		△			●		△					
クルーザーFS30	△						●		●		△	
クルーザーMAXX	△						●		●		△	△
パーマチオン水和剤		●	●	●	●	●						
アクセルフロアブル						●	△					
フェニックス顆粒水和剤			△			●						
フェニックスフロアブル						●			△			
クラブフロアブル					●							
ダントツフロアブル			△		●		△				△	
トルネードエースDF						●						
プレオフロアブル			△			●						
プレバソソフロアブル5			△			●						
プロフレアSC		△	△			●	△					
マトリックフロアブル						●						
ヨーバルフロアブル			△			●		△				
ロムダンゾル						●						

※：幼虫登録、△：本指針には採用していないが登録がある

大豆（害虫）

(1) タネバエ  
(生態と防除のねらい)

① 未熟堆肥、鶏糞、油かすを基肥に用いると発生が多いので、これらは深く処理して覆土する。

IRAC		農薬名		毒性	備考
①	②	商品名	一般名		
1B		ダイアジノン粒剤3	ダイアジノン粒剤	普	土壌混和 豆類(種実)登録
1B		ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン粒剤	普	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 生育中：作条処理して軽く覆土

(薬剤使用上の注意事項)

(2) ダイズサヤタマバエ  
(生態と防除のねらい)

① 開花期から幼莢期に薬剤を散布し、産卵、食入防止に努める。

IRAC		農薬名		毒性	備考
①	②	商品名	一般名		
1B		スミチオン乳剤	MEP乳剤	普	無人航空機登録あり
3A	1B	パーマチオン水和剤	フェンバレレート・MEP水和剤	劇	

(薬剤使用上の注意事項)

(3) マメシンクイガ、シロイチモジマダラメイガ  
(生態と防除のねらい)

- ① 幼虫が莢の子実を食害する。
- ② 老熟幼虫が莢から脱出し、地上に落ちて土中で繭を作って越冬する。
- ③ 年1～2回発生する。
- ④ 大豆収穫後に、越冬場所である圃場を耕耘する。
- ⑤ 発蛾最盛期～被害発生初期の8月中～下旬に1～2回散布する。
- ⑥ 連作を避け、水稻との輪作で生息密度を下げる。
- ⑦ 若莢期（9月上旬頃）に防除を行う。

IRAC		農薬名		毒性	備考
①	②	商品名	一般名		
1B		エルサン乳剤	PAP乳剤	劇	
1B		スミチオン乳剤	MEP乳剤	普	無人航空機登録あり
3A	1B	パーマチオン水和剤	フェンバレレート・MEP水和剤	劇	
3A		アディオソ乳剤	ペルメトリン乳剤	普	マメシンクイガで登録、無人航空機登録あり
3A		トレボン乳剤	エトフェンブロックス乳剤	普	
3A		トレボン粉剤DL	エトフェンブロックス粉剤	普	豆類(種実)登録

(薬剤使用上の注意事項)

大豆（害虫）

(4) カメムシ類  
(生態と防除のねらい)

- ① カメムシ目カメムシ科のアオクサカメムシ・ミナミアオカメムシ・イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ科のホソヘリカメムシなど種類が多い。
- ② 若い莢が吸汁を受けると落莢したり、板莢となる。豆の肥大期では変形、変色し、品質低下するため若莢期～肥大期に2～3回、7～10日おきに散布する。
- ③ 大豆の団地圃場では、広域一斉防除の効果が高い。

IRAC		農薬名		毒性	備考
①	②	商品名	一般名		
3A	1B	パーマチオン水和剤	フェンバレレート・MEP水和剤	劇	
3A		トレボン粉剤DL	エトフェンブロックス粉剤	普	豆類（種実）登録
4A		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	普	
4A		ダントツフロアブル	クロチアニジン水和剤	普	無人航空機登録あり
4A		ダントツH粉剤DL	クロチアニジン粉剤	普	
2B		キラップフロアブル	エチプロール水和剤	普	ホソヘリカメムシにはやや劣る、無人ヘリコプター登録あり

(5) ハスモンヨトウ  
(生態と防除のねらい)

- ① 本県の沿岸など暖かい地域では越冬可能で、越冬地域から長距離飛来する。
- ② 大豆の他、多くの農作物を加害する。
- ③ 8月中旬頃から発生が多くなるので発生状況に注意し、白変葉を見かけたら、直ちに防除を行う。
- ④ 老齢幼虫は薬剤防除が困難となるので、早めの防除を行う。

IRAC		農薬名		毒性	備考
①	②	商品名	一般名		
1B		エルサン乳剤	PAP乳剤	劇	
3A	1B	パーマチオン水和剤	フェンバレレート・MEP水和剤	劇	
3A		トレボン粉剤DL	エトフェンブロックス粉剤	普	豆類（種実）登録
3A		トレボン乳剤	エトフェンブロックス乳剤	普	
15		アタブロン乳剤	クロルフルアズロン乳剤	普	無人航空機登録あり
15		カスケード乳剤	フルフェノクスロン乳剤	普	無人航空機登録あり
15		ノーモルト乳剤	テフルベンズロン乳剤	普	無人航空機登録あり
15		マッチ乳剤	ルフェヌロン乳剤	普	
18		マトリックフロアブル	クロマフェノジド水和剤	普	無人航空機登録あり
18		ロムダン粉剤DL	テブフェノジド粉剤	普	
18		ロムダンゾル	テブフェノジド水和剤	普	
22A		トルネードエースDF	インドキサカルブ水和剤	普	無人航空機登録あり
22B		アクセルフロアブル	メタフルミゾン水和剤	普	無人航空機登録あり
28		フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	普	
28		フェニックスフロアブル	フルベンジアミド水和剤	普	無人航空機登録あり
28		ブレバソソフロアブル5	クロラントラニリプロール水和剤	普	無人航空機登録あり
28		ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール水和剤	普	無人航空機登録あり
30		グレーシア乳剤	フルキサメタミド乳剤	普	無人航空機登録あり
30		プロフレアSC	プロフラニリド水和剤	普	無人航空機登録あり
UN		ブレオフロアブル	ピリダリル水和剤	普	無人航空機登録あり

(薬剤使用上の注意事項)

- ① 地域により薬剤感受性が異なる。また、同一系統薬剤を連用すると薬剤に対する感受性が低下するので、異なる系統の薬剤を輪番使用する。

大豆（害虫）

(6) フタスジヒメハムシ

- ① 成虫が圃場や畦畔の落葉や雑草で越冬する。
- ② 成虫は、葉、莖、莢を食害し、莢が食害されると子実には黒斑粒を生じて品質低下となる。
- ③ 幼虫は、根や根粒を食害し、地上部の生育不良を発生させる。
- ④ 暖地では年2回発生する。
- ⑤ モザイク病のウイルスを媒介すると思われる。
- ⑥ 大豆収穫後に、越冬場所である圃場の落葉を土中にすき込む。
- ⑦ 連作を避け、生息密度を下げる。
- ⑧ 農薬による種子消毒を行う。
- ⑨ 発生を認めたら、早めに防除を行う。

農薬名			毒性	備考
IRAC ① ②	商品名	一般名		
4A	クルーザーFS30	チアメトキサム水和剤	普	塗沫処理
4A	クルーザーMAXX	チアメトキサム・フルジオキサニル・メタラキシルM水和剤	普	

(7) コガネムシ類

農薬名			毒性	備考
IRAC ① ②	商品名	一般名		
1B	ダイアジノン粒剤3	ダイアジノン粒剤	普	土壌混和 豆類（種実）登録 幼虫登録
1B	ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン粒剤	普	作付前：全面土壌混和又は作条土壌混和 生育中：作条処理して軽く覆土 幼虫登録

(8) ネキリムシ類

農薬名			毒性	備考
IRAC ① ②	商品名	一般名		
4A	クルーザーFS30	チアメトキサム水和剤	普	塗沫処理
4A	クルーザーMAXX	チアメトキサム・フルジオキサニル・メタラキシルM水和剤	普	

(9) センチュウ類

(生態と防除のねらい)

- ① ダイズシストセンチュウ、ミナミネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウ類が防除の対象となる。

農薬名			毒性	備考
IRAC ① ②	商品名	一般名		
8A	テロンDC油剤	D-D剤（97%）	劇	土壌消毒、ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ、ダイズシストセンチュウ

大豆（害虫）

(10) アブラムシ類  
(生態と防除のねらい)

- ① ジャガイモヒゲナガアブラムシ、ダイズアブラムシ、マメアブラムシが主体である。
- ② 葉や茎に寄生し吸汁加害するため、葉は縮れて奇形葉となり生育は著しく阻害される。
- ③ 萎縮病、ウイルス病、モザイク病及びわい化病のウイルスを媒介する。
- ④ 発生を認めたら、早めに防除を行う。

IRAC		農薬名		毒性	備考
①	②	商品名	一般名		
1B		エルサン乳剤	PAP乳剤	劇	
1B		スミチオン乳剤	MEP乳剤	普	無人航空機登録あり
1B		マラソン乳剤	マラソン乳剤	普	

(12) ハト

FRAC		農薬名		毒性	備考
①	②	商品名	一般名		
MO3		キヒゲン	チウラム水和剤	普	

# 大豆（病害防除）

## 指針採用農薬一覧表

病害虫名 農薬名（商品名）	紫斑病	種子消毒 （紫斑病）
アミスター20フロアブル	●	
キヒゲン		●
キヒゲンR-2フロアブル		●
ゲッター水和剤	●	△
サンリット水和剤	●	
スミレックス水和剤		
Zボルドー	●	
トップジンM粉剤DL	●	
トップジンM水和剤	●	●
三マイバー水和剤	●	
ファンタジスタ顆粒水和剤	●	
フセキフロアブル	●	
ベンレート水和剤	●	
ベンレートT水和剤20		●
ホームイ水和剤		●
ロブラール水和剤		

大豆（病害）

(1) 種子消毒（紫斑病）

(生態と防除のねらい)

- ① 紫斑病菌の一次伝染源を絶つことが、主なねらいである。

FRAC	農薬名		毒性	備考
	商品名	一般名		
MO3	キヒゲン	チウラム水和剤	普	ハトにも登録あり
MO3	キヒゲンR-2フロアブル	チウラム水和剤	普	
1	トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	普	
MO3 1	ベンレートT水和剤20	チウラム・ベノミル水和剤	普	
MO3 1	ホームイ水和剤	チウラム・チオファネートメチル水和剤	普	

(2) 紫斑病 *Cercospora kikuchii*

(生態と症状)

- ① 病原菌は主として菌糸の形で種子で越冬する。病気にかかった茎葉やさやも伝染源となる。  
 ② 結実期に雨が多く涼しい気候が続いた場合に多く発生する傾向がある。  
 ③ 成熟期にも降雨が多いと発病が促進される。

(防除)

- ① 水かけの良い圃場を選択する。排水対策を実施する。  
 ② 幼莢期から子実肥大期に2回散布する。種子伝染するので、罹病植物は集めて焼却し、播種前に罹病種子を除去する。  
 ③ 罹病残渣は圃場内に残さず処分する。  
 ④ 成熟後、速やかに収穫・乾燥を行い、品質・収量を低下させない。

FRAC/ IRAC	農薬名		毒性	備考
	商品名	一般名		
MO1	Zボルドー	銅水和剤	普	
10 1	ゲッター水和剤	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤	普	注1
10 1	ニマイバー水和剤	ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤	普	注2、無人航空機登録あり
1	トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	普	
1	トップジンM粉剤DL	チオファネートメチル粉剤	普	
1	ベンレート水和剤	ベノミル水和剤	普	
3	サンリット水和剤	シメコナゾール水和剤	普	
11	アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン水和剤	普	無人航空機登録あり
11	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ水和剤	普	
53	フセキフロアブル	ピリダクロメチル水和剤	普	無人航空機登録あり

注1 本剤を使用した場合、ベノミルを含む剤は使用できない。ただし、種子粉衣は除く。

注2 本剤を使用した場合、チオファネートメチルを含む剤は使用できない。ただし、種子粉衣は除く。